

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

コミュニティ施設の事例集

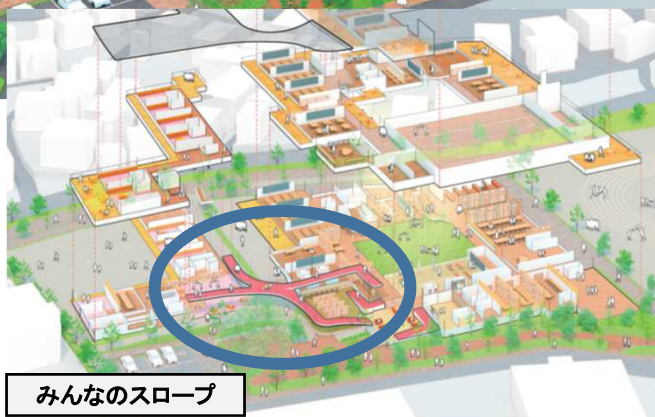
事例① 塩津地区の複合施設(H29ワークショップ実施)

“子育て”と“交流”の拠点

- 小学校、保育園が連携しやすく、それぞれの教育環境が確立できる。
- 「みんなのスロープ」と「クスノキ広場」であらゆる場所が繋がり、地域コミュニティの核をつくる。

機能

小学校、保育園、公民館



※画像は令和4年8月に実施された設計業務プロポーザルで提案されたものです。内容は一部変更になることがあります。

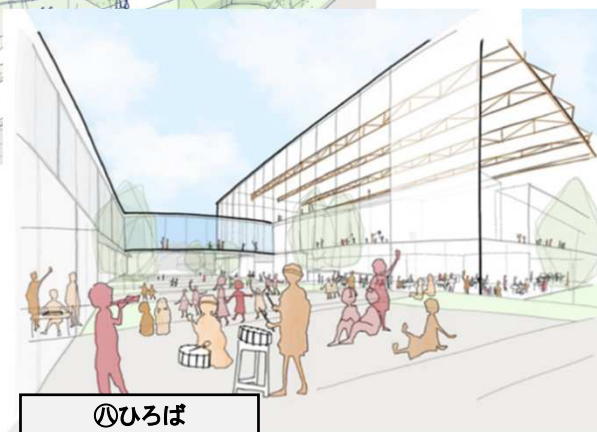
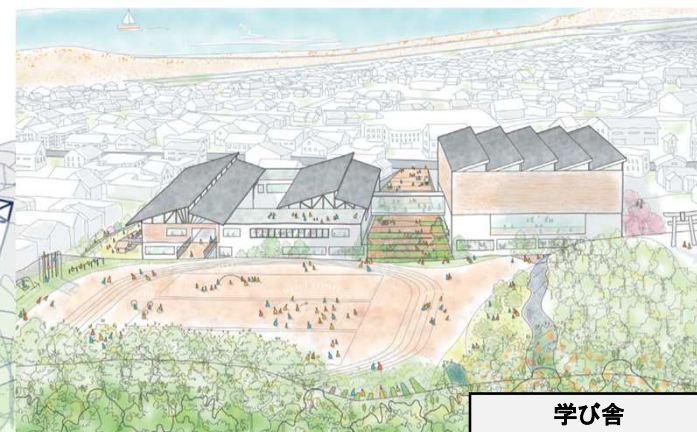
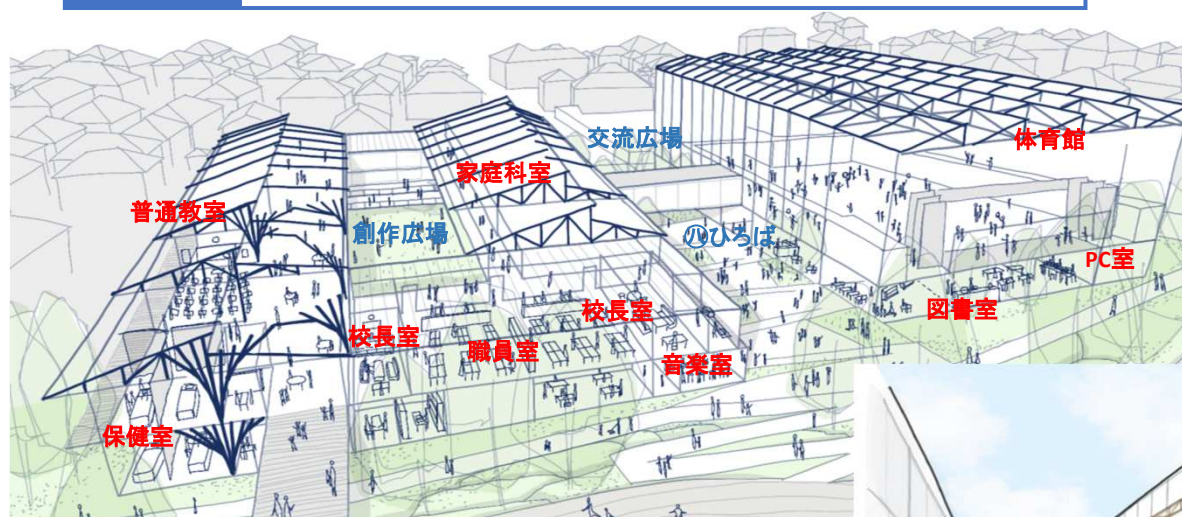
事例② 西浦地区の複合施設 (H29ワークショップ実施)

“教育”と“交流”の拠点

- 小学校、中学校が同じ建物にまとまることで、連携がしやすく、教育環境が確立できる。
- 「㊦ひろば」「交流広場」「創作広場」が地域に開放されることで、多様な地域住民の施設利用が生まれ、学校と地域の交流が活性化する。

機能

小学校、中学校、公民館



※画像は令和4年8月に実施された設計業務プロポーザルで提案されたものです。内容は一部変更になることがあります。

事例③

愛知県豊田市

浄水中学校・浄水交流館

地域ぐるみの教育を目指す

- 中学校新設にあたり、「地域ぐるみの教育」を目指して、浄水中学校と交流館を合築。
- 学校に通う中学生や教師と交流館を利用する地域住民の連携・交流により、学校教育や生涯学習の充実を図る。
- 音楽室や美術室、多目的ホールなどを地域と共有。

機能

中学校、交流館(公民館)



共有のエンタランスで行われた
吹奏楽部によるコンサート



中学校・交流館合同で実施した
まごころフェスタの様子



地域の小学生の為に中学生が
イベントを実施することも

事例④

愛知県新城市

新城市立作手小学校・つくで交流館

大きな中庭をぐるりと囲んだ「共育の場」

- 大きな中庭を世代を超えた「共育の場」として活用。
- 中庭をはさんでお互いの活動が垣間見え、賑わいが伝わってくる。
- 作手地区の4校の小学校の統合による新校舎設立に際し、交流館（公民館）を合築。

機能

小学校、交流館（公民館）



地域が集う
作手小学校の学習発表会
@つくで交流館ホール



中庭
交流館のイベントや小学校の
授業等で利用



特別教室やランチルームなど
共有する部屋は中庭の周りに
配置されている

【平面図 5=1/1000】

【出典】

つくでスマイル推進協議会HP <http://tsukude-smile.jp/>
こどもが変わる 学校が変わる 図書館づくり <http://www.hirayumodel.com/topics/entry-247.html>

事例⑤

愛知県豊川市

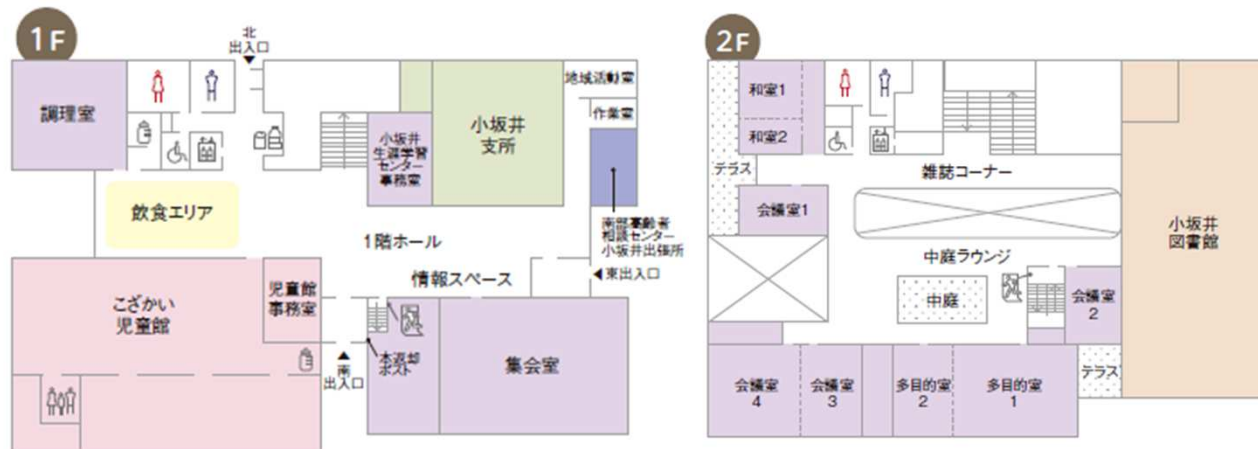
こざかい葵風館 (令和3年5月開館)

様々な施設を利用する地域住民の交流の場

- 1階に施設の中心となるホールを配置し、利用機能の異なる様々な方の交流の場に。
- ホールと屋外空間を一体的に利用することで、祭りやイベントなどの大人数の活動にも対応。
- 老朽化が進む小坂井庁舎とその周辺施設についてアンケートや住民ワークショップを実施しながら再整備を検討。

機能

生涯学習センター(公民館)、児童館、図書館、市役所支所



1階ホールの様子

1階ホールは支所機能の待合や飲食、展示スペースなど様々な利用者が共存する。
東西方向の建具を開放することでイベント時に屋外と一体利用も可能となる。

事例⑥

静岡県焼津市

東益津小学校・東益津公民館

世代間交流・地域交流の場

- コミュニティ活動や世代間交流を促進する学校教育・生涯学習の拠点として、多くの地域住民が利用する施設。
- 公民館を利用する高齢者と小学校との交流や、お母さんとの給食交流、地域ボランティアによる読み聞かせなどを実施。
- 学校施設の耐震化と公民館の建替えにあわせて2つの施設を合築。

機能

小学校、公民館



高齢者との交流



お母さんとの給食交流



読み聞かせ

事例⑦

岐阜県多治見市 根本交流センター

子どもから高齢者まで多くの人が集まる施設

- 地域の拠点として、乳幼児からお年寄りまで全世代の交流が生まれている。
- 子どもから大人までともに楽しめる多くのイベントが行われている。
- 地域で活動する組織や団体等の活動の場となっている。

機能

公民館、児童センター(児童館)、地区事務所(市役所支所)



乳幼児室

子どもたちや保護者が気軽に
交流できる空間



大ホール

普段は児童館の遊戯室として使用
児童館休館日や夜間は大ホールと
して様々なイベントに活用



図書コーナー

赤ちゃんから高齢者まで幅広い
図書を取り揃える

事例⑧

岐阜県多治見市 ふれあいセンター姫

多世代のふれあいの場

- 「ふれあいセンター姫まつり」などの共催・連携事業を多く実施。
- 両施設合同で五平餅づくりを行うなど、子どもと高齢者の交流が図られている。
- 地域の子どもを知ってもらい、地域全体での見守りに繋がるのが期待できる。

機能

児童センター(児童館)、老人福祉施設(老人福祉センター、デイサービス等)



ベビークラブ



図書室



幼児室

事例⑨

富山県南砺市

南砺市立利賀小学校・南砺市立利賀中学校・利賀公民館

地域に開かれた学校を目指す

- コンセプトは「アーパス (All Persons' School) = 地域に開かれた学校」
- 小学校・中学校・公民館が一体化されたことで、地域住民が集まりやすく、学校が地域に見守られる環境となっている。
- 学校の家庭科室や体育館、公民館のホールや図書館など重複する機能をまとめ、相互利用をしている。

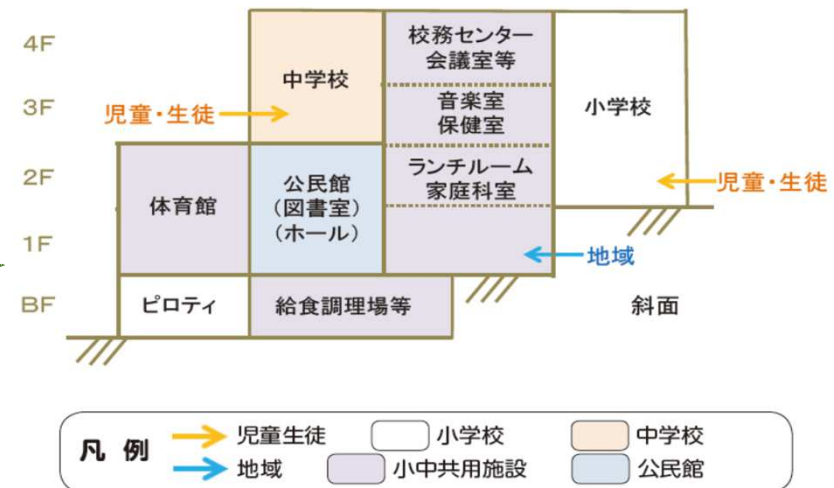
機能

小学校、中学校、公民館



家庭科室や和室を公民館と同じフロアとし、地域の方が使用しやすくしている。

公民館の図書室は、授業だけではなく放課後子どもも教室にも活用されている。



事例⑩

東京都世田谷区

世田谷区立芦花小学校

世田谷区立芦花中学校・八幡山保育園

校内に設置された放課後の子ども達の居場所

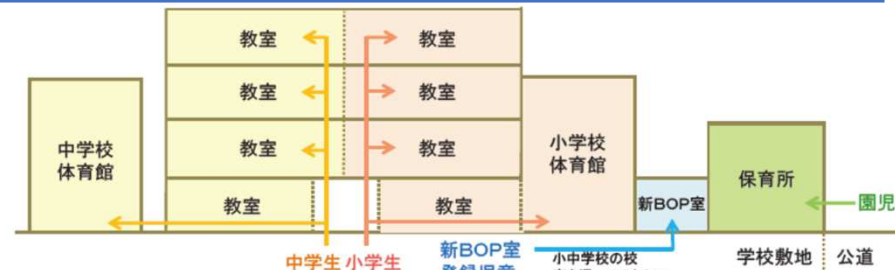
- 自由な遊びや体験・交流の場であるBOPと学童クラブを設置することで、放課後の子ども達の居場所が確保されている。
- 保育園において中学生の職場体験、小学生による読み聞かせなど連携活動を実施し交流が生まれている。

機能

小学校、中学校、保育園、児童クラブ



子どもたちがのびのび遊べる場として新BOP室を設置している。



凡例
 小学校 (orange box) 中学校 (yellow box) 保育所 (green box) 新BOP室 (light blue box)
 小学校 (orange arrow) 中学校 (yellow arrow) 園児 (green arrow) 新BOP室 (blue arrow)

保育園は道路に面した配置として、学校と動線を分離している。新BOP室は放課後安全に児童が移動でき、体育館や校庭を利用しやすいよう校庭側に出入り口がある。

BOP (Base Of Playing) : 放課後の自由な遊びの場 新BOP: BOPと学童クラブを統合したもの

事例⑪

東京都世田谷区

世田谷区立砧南中学校・砧南らる保育園

園児から思いやりの心を学べる中学校

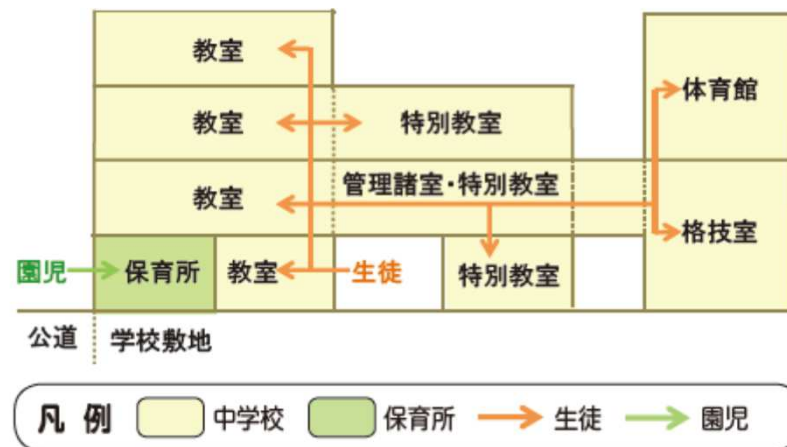
- 中学校の体育祭で保育園競技を取り入れたり、中学生による読み聞かせが行われるなど、生徒と園児の交流を図っている。
- 職場体験や家庭科での保育体験など、隣接する保育園と協力した授業を行っている。
- 中学校の余裕教室を改修して、保育園を整備。

機能

中学校、保育園



中学校と保育園の動線は交錯がないように分離されている。部活動等で飛んでくるボールの対策として防球ネットを設置している。



【出典】学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について～学びの場を拠点とした地域の振興と再生を目指して～ 文部科学省

事例⑫

東京都台東区

台東区立上野小学校

台東区立清島幼稚園・社会教育センター

地域・児童の学校教育・生涯学習への関心を高める施設

- 地域の生涯学習拠点として整備。
- 小学校と社会教育センターは相互に活動の様子を見ることが可能。
- 児童が、生涯学習を続ける地域住民の姿を普段から感じ取ることができる。

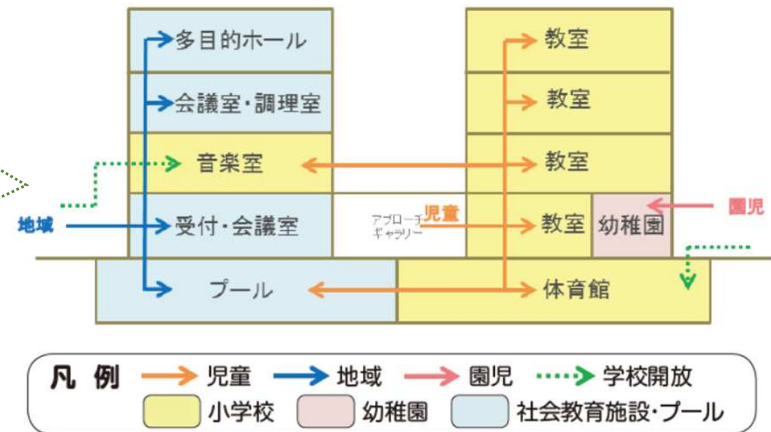
機能

小学校、社会教育センター(生涯学習機能)、幼稚園



音楽室と体育館は地域開放を行っており、地域の方の生涯学習活動の姿を見ることができる。

隣接する児童遊園は、幼稚園から直接アクセスすることができる。



事例⑬

埼玉県吉川市 吉川市立美南小学校

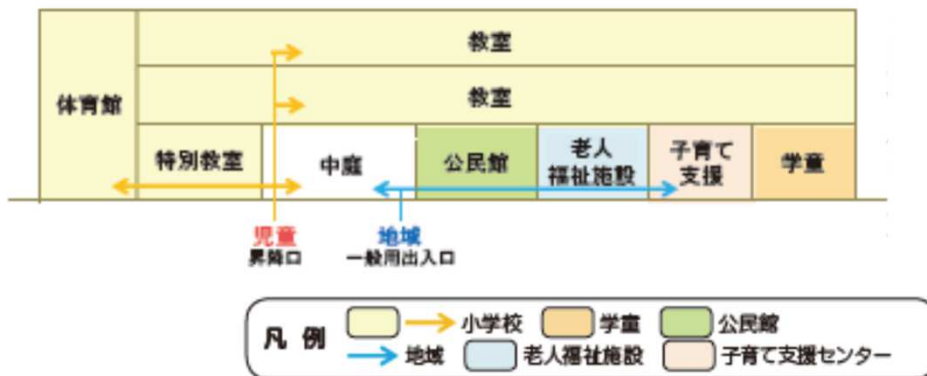
多世代が集う地域の交流拠点

- 小学校に、乳幼児から高齢者まで様々な世代が利用する施設を合築。
- 中庭を通じて学校と地域の利用者が自然に交流できる。
- 体育館、音楽室、図工室、家庭科室等を地域に開放。

機能

小学校、公民館、児童クラブ、
高齢者ふれあい広場、
子育て支援センター

<立面図>



子育て世代・共働き世代が増加する地域の実情に応じた施設を整備
(左：子育て支援センター、右：学童保育室)



デイサービスでは小学校の給食を提供 学校教育の活動時間外に体育館を地域に開放

事例⑭

京都府宇治市

宇治市立小倉小学校・小倉デイサービスセンター

児童と高齢者の自然な交流が生まれる

- 小学校の余裕教室を改修して、高齢者向け施設に転用。
- 授業の一環での施設間交流のほか、休み時間に一緒に折り紙をしたりと日常的に身近で生活することにより世代間交流が自然に発生している。

機能

小学校、福祉老人施設(デイサービス)



<立面図>

